「水道事業に関するアンケート調査」報告書

1 調査の目的

このアンケート調査は、将来の水道事業のあり方を検討していく上で、上田市民の水道水に対する満足度 や水道事業に対する要望等の意見を把握することを目的に実施しました。

2 アンケートの概要

(1)調査地域 上田市内全域

(2) 対象者 市内に居住する満18歳以上の方 4,000人 (令和5年10月1日時点/無作為抽出)

(3) 調査期間 令和5年10月16日~11月3日

(4)調査方法 郵送による配布、郵送又はWebによる回答

(5) 有効回答者数 1,604人 (郵送1,427人、Web177人)

(6)回収率 40.1%

※報告書では回答者数 = n と表記

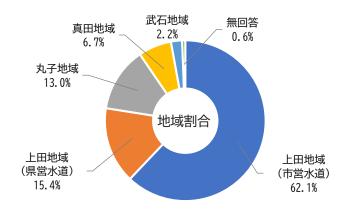
3 調査結果

問1 お住まいの地域を教えてください。

・ 地域別の回収率は、「武石地域」が48.0%で最も多くなっています。

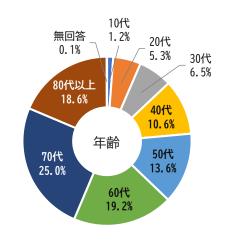
| 地 域 | 調査数 | 回答数 | 割合 |
|---------------|--------|--------|--------|
| 上田地域(市営水道エリア) | 3,097人 | 996人 | 40.1% |
| 上田地域(県営水道エリア) | 3,037 | 247人 | 40.170 |
| 丸子地域 | 553人 | 208人 | 37.6% |
| 真田地域 | 275人 | 107人 | 38.9% |
| 武石地域 | 75人 | 36人 | 48.0% |
| 無回答 | - | 10人 | - |
| 승 計 | 4,000人 | 1,604人 | 40.1% |

(回答者の地域別割合)

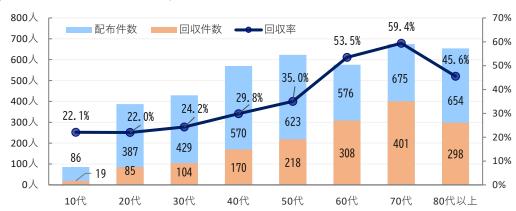


- ・回答者の年齢は、「70代」が25.0%で最も多くなっています。
- ・また、アンケートの回収率は、年齢が上がるほど高くなる傾向がみられます。

| 年齢 | 人数 | 割合 |
|-------|--------|-------|
| 10代 | 19人 | 1.2% |
| 20代 | 85人 | 5.3% |
| 30代 | 104人 | 6.5% |
| 40代 | 170人 | 10.6% |
| 50代 | 218人 | 13.6% |
| 60代 | 308人 | 19.2% |
| 70代 | 401人 | 25.0% |
| 80代以上 | 298人 | 18.6% |
| 無回答 | 1人 | 0.1% |
| 合 計 | 1,604人 | 100% |



(年齢別のアンケート回収率)



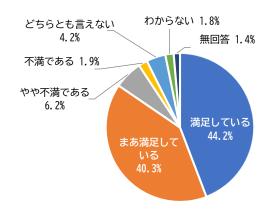
問3 世帯の人数を教えてください。

・ 世帯の人数は、「2人」が41.1%で最も多くなっています。

| 世帯人数 | 人数 | 割合 |
|------|--------|-------|
| 1人 | 207人 | 12.9% |
| 2人 | 659人 | 41.1% |
| 3人 | 346人 | 21.6% |
| 4人 | 228人 | 14.2% |
| 5人以上 | 161人 | 10.0% |
| 無回答 | 3人 | 0.2% |
| 合 計 | 1,604人 | 100% |



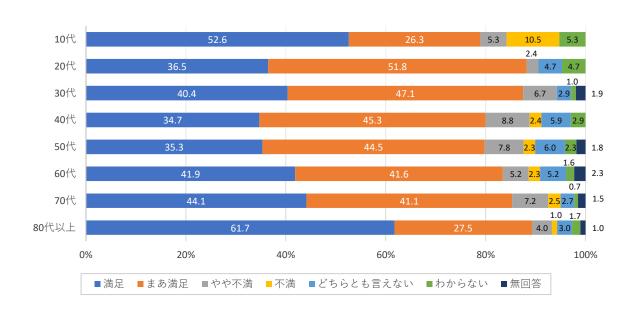
| 項目 | 人数 | 割合 |
|-----------|--------|-------|
| 満足している | 709人 | 44.2% |
| まあ満足している | 647人 | 40.3% |
| やや不満である | 99人 | 6.2% |
| 不満である | 31人 | 1.9% |
| どちらとも言えない | 67人 | 4.2% |
| わからない | 29人 | 1.8% |
| 無回答 | 22人 | 1.4% |
| 合 計 | 1,604人 | 100% |



- ・「満足している」の回答が44.2%で最も多くなっています。
- ・「満足している」「まあ満足している」を合わせた割合は、全体の84.5%を占めており、水道水について一定の満足度が得られています。

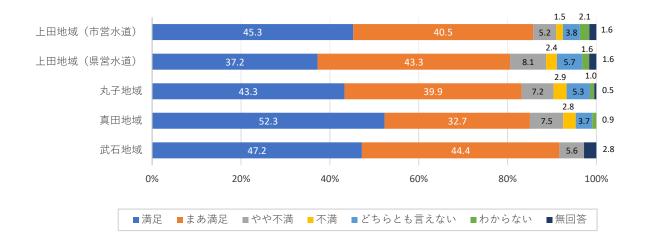
【属性別集計】

① 年齢別による比較



- ・「満足している」の割合は、80代以上が61.7%で最も多くなっています。
- ・10代は、「不満である」の割合が10.5%で、他の年齢層に比べ多くなっています。

② 居住地域別による比較



- ・「満足している」の割合は、真田地域が52.3%で最も多く、上田地域(県営水道エリア)が37.2%で最も少なくなっています。
- ・武石地域は「満足している」「まあ満足している」を合わせると90%を超え、最も多くなっています。

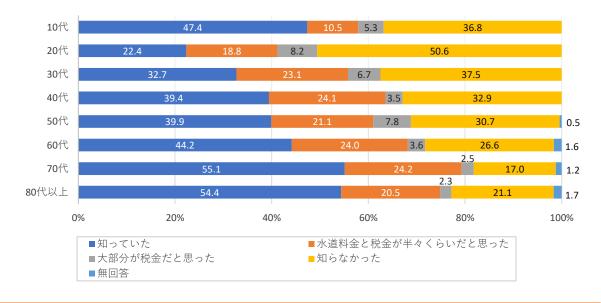
| 項目 | 人数 | 割合 |
|--------------------|--------|-------|
| 知っていた | 735人 | 45.8% |
| 水道料金と税金が半々くらいだと思った | 361人 | 22.5% |
| 大部分が税金だと思った | 66人 | 4.1% |
| 知らなかった | 426人 | 26.6% |
| 無回答 | 16人 | 1.0% |
| 合 計 | 1,604人 | 100% |



・問5に対し、「知っていた」の割合が45.8%で最も多くなっていますが、半数以上の方には認知されていない状況にあります。

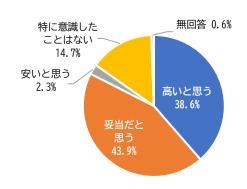
【属性別集計】

① 年齢別による比較



- ・20代は「知らなかった」の割合が50.6%で、過半数を超えています。
- ・「知っていた」の割合は、70歳代が55.1%で最も多く、年齢が下がるにつれ減少傾向にありますが、10代は47.4%と高い割合となっています。

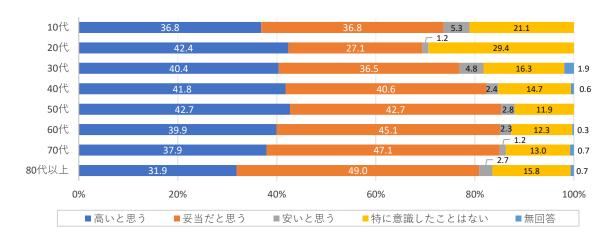
| 項目 | 人数 | 割合 |
|-------------|--------|-------|
| 高いと思う | 619人 | 38.6% |
| 妥当だと思う | 704人 | 43.9% |
| 安いと思う | 37人 | 2.3% |
| 特に意識したことはない | 235人 | 14.7% |
| 無回答 | 9人 | 0.6% |
| 合 計 | 1,604人 | 100% |



- ・「妥当だと思う」の割合が43.9%で最も多くなっています。
- ・「高いと思う」を選択した人の割合が38.6%に対し、「安いと思う」の割合は2.3%になっています。

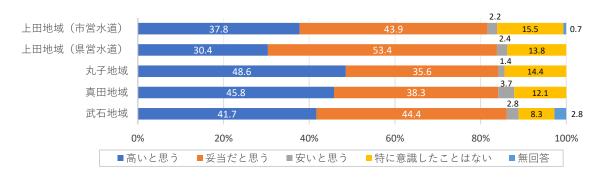
【属性別集計】

① 年齢別による比較



- ・年齢別による比較では、「高いと思う」の割合は50代が42.7%で最も多くなっていますが、50代については、「妥当だと思う」も同じ割合になっています。
- ・一方で、「妥当だと思う」の割合は、80代以上が49.0%で最も多くなっています。

② 居住地域別による比較



- ・地域別による比較では、「高いと思う」の割合は、丸子地域が48.6%で最も多く、次いで真田地域、 武石地域、上田地域(市営水道)、上田地域(県営水道)の順に多くなっています。
- ・一方で、「妥当だと思う」の割合は、上田地域(県営水道)が53.4%で最も多くなっています。

| 項目 | 回答数 | 0% 1 | .0% 20 | % 30% |
|--------------------------|-----------|------|--------|-------|
| 他の公共料金と比べて | 337 | | | 21.0% |
| 他の市区町村と比べて | 235 | | 14.79 | 6 |
| 家計に占める割合から | 403 | | | 25.1% |
| 何となくそう感じる | 346 | | | 21.6% |
| 2か月に1度の請求のため | 343 | | | 21.4% |
| 下水道使用料と同じ月の請求のため | 282 | | 1 | 7.6% |
| 水道水の安定供給に必要な維持管理コストを考慮して | 245 | | 15.3 | % |
| 水道料金を自分で支払っていないため | 96 | 6.0 | 0% | |
| その他 | 75 | 4.7% | 6 | |
| 無回答 | 44 | 2.7% | | |
| | (n=1,604) | | | , |

・「家計に占める割合から」の割合が25.1%で最も多く、次いで「何となくそう感じる」、「2か月に1度 の請求のため」、「他の公共料金に比べて」の順に多くなっています。

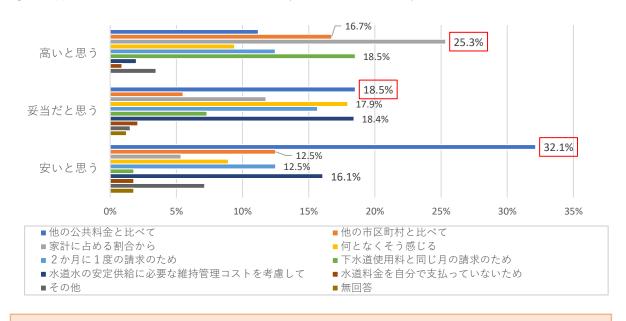
「その他」の記述内容は以下のとおりです。

- 庭への散水分も下水道料金かかる
- ●値上がりしたから
- 基本料金が高い

など 75件の回答がありました。

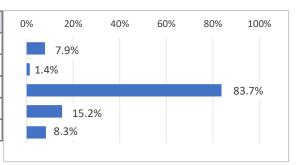
【その他の集計】

①水道料金に対する感じ方の違いによる比較 (問6とのクロス集計)



- ・水道料金について「高いと思う」を選択された人は、そのように感じる理由として「家計に占める割合」が25.3%で最も多くなっています。
- ・一方で、「妥当だと思う」と「安いと思う」を選択された人は、「他の公共料金と比べて」の割合が最 も多くなっています。

| 項目 | 回答数 |
|-------------------|------------|
| ホームページ | 126 |
| X(旧Twitter)などのSNS | 22 |
| 広報うえだ | 1,342 |
| 県企業局広報紙「けんえいすいどう」 | 244 |
| 無回答 | 133 |
| | (- 1 CO 1) |



(n=1,604)

・見たことのある広報の媒体としては、「広報うえだ」が最も多く、83.7%となっています。

問9 水道に関する広報について、どのような情報の提供があると良いですか? (複数選択可)

| 項目 | 回答数 | 0% | 5 2 | 0% | 40% | 6 | 0% | 80% |
|---------------|-----------|----|------|-------|-----|-------|-------|-----|
| 災害対策への取り組み | 716 | | | | | 44.6% | | |
| 老朽化対策への取り組み | 941 | | | | | | 58.7% | |
| 水道に関する手続き方法 | 168 | | 10. | 5% | | | | |
| トラブル発生時の対応方法 | 865 | | | | | 5 | 3.9% | |
| 施設見学などのイベント情報 | 131 | | 8.2% | | | | | |
| 水源や水道水の水質検査結果 | 650 | | | | 4 | 0.5% | | |
| 経営状況 | 243 | | | 15.1% | | | | |
| その他 | 30 | | 1.9% | | | | | |
| 無回答 | 51 | | 3.2% | | | | | |
| | (n=1,604) | | | | | | | |

・「老朽化対策への取り組み」が58.7%で最も多く、次いで「トラブル発生時の対応方法」、「災害対策への取り組み」、「水源や水道水の水質検査結果」の順に多くなっています。

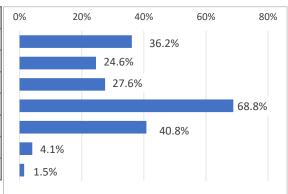
「その他」の記述内容は以下のとおりです。

- 料金のしくみ
- トラブル発生状況(リアルタイム)
- 設備投資計画

など 30件の回答がありました。

問10 災害等により断水が発生した際に情報を得る方法について、有効であると思うものを教えてください。(複数選択可)

| 項目 | 回答数 |
|-------------------|-----------|
| ホームページ | 580 |
| 防災無線 | 395 |
| X(旧Twitter)などのSNS | 442 |
| 広報車による巡回 | 1,104 |
| 避難所や公共施設での情報提供 | 655 |
| その他 | 66 |
| 無回答 | 24 |
| | (n=1,604) |



・「広報車による巡回」が68.8%で最も多く、次いで「避難所や公共施設での情報提供」、「ホームページ」の順に多くなっています。

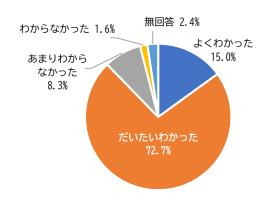
「その他」の記述内容は以下のとおりです。

- 市のメール配信や公式LINE
- 各家庭で受信できる防災ラジオの設置 (岡谷市、茅野市などが使用)
- ケーブルテレビやエリアトーク等の地域有線放送

など 66件の回答がありました。

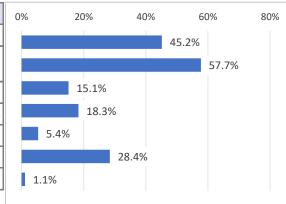
問11 今回添付した資料「水道事業の将来について一緒に考えよう」はわかりやすかったですか? (1つお選びください)

| 項目 | 人数 | 割合 |
|------------|--------|-------|
| よくわかった | 241人 | 15.0% |
| だいたいわかった | 1,166人 | 72.7% |
| あまりわからなかった | 133人 | 8.3% |
| わからなかった | 26人 | 1.6% |
| 無回答 | 38人 | 2.4% |
| 合 計 | 1,604人 | 100% |



・「だいたいわかった」が72.7%で最も多く、「よくわかった」を合わせると全体の87.7%を占めています。

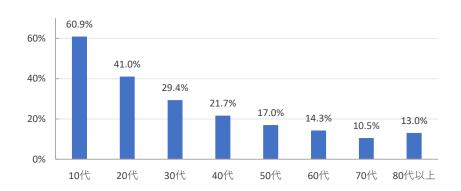
| 項目 | 回答数 |
|------------------------------|------------|
| 人口減少に伴う料金収入の減少 | 725 |
| 施設の老朽化及び耐震化に伴う修繕・ 更新費用の増加 | 926 |
| 水道事業に携わる職員の不足 | 243 |
| 自然災害などに対する危機管理対策 | 294 |
| 節水機器の普及に伴う水需要の減少 | 86 |
| 知らなかった | 456 |
| 無回答 | 18 |
| | (n 1 CO 1) |



(n=1,604)

【属性別集計】

① 年齢別による比較(「知らなかった」と回答した方)



- ・「施設の老朽化及び耐震化に伴う修繕・更新費用の増加」、「人口減少に伴う料金収入の減少」の割合 が多くなっています。
- ・全体の28.4%の方が「知らなかった」と回答していますが、若い年代ほど高い割合になっています。

問13 老朽施設の更新や耐震化を取り組むには多額の費用が必要となりますが、今後、施設の更新や耐震化に対してどのように取り組んで行くべきと思われますか?(1つお選びください)

| 項 目 | 人数 | 割合 |
|----------------------------------|-------|-------|
| 水道料金が上がっても、できるだけ早く取り組んでほしい | 638 | 39.8% |
| 水道料金への影響をできるだけ抑えるよう、時期は遅れてもかまわない | 496 | 30.9% |
| 水道料金を上げてまで、対策の必要はない | 53 | 3.3% |
| わからない | 286 | 17.8% |
| その他 | 118 | 7.4% |
| 無回答 | 13 | 0.8% |
| 合 計 | 1,604 | 100% |



- ・「水道料金が上がっても、できるだけ早く取り組んでほしい」の割合が39.8%で最も多くなっています。
- ・今後、施設の更新、耐震化を行うことに対し、全体の70.7%が「取り組むべき」を選択されています。

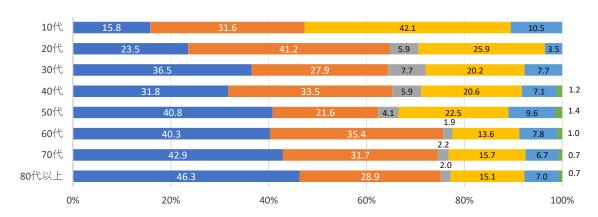
「その他」の記述内容は以下のとおりです。

- できるだけ料金を上げずに早く取り組んでほしい
- 対策は必要だが水道料金への影響を抑えつつ行ってほしい
- 早急に取り組む事は大事だが、インフラ関係は税金を投入することも考えるべき
- 早く遅くではなく、必要なことを必要な時に行ってほしい
- 料金をなるべく上げず、取り組める方法を考えてほしい
- 問題点に関して不安な面もありますが、広域化を図り、国から財政支援を受けるべき

など 118件の回答がありました。

【属性別集計】

① 年齢別による比較

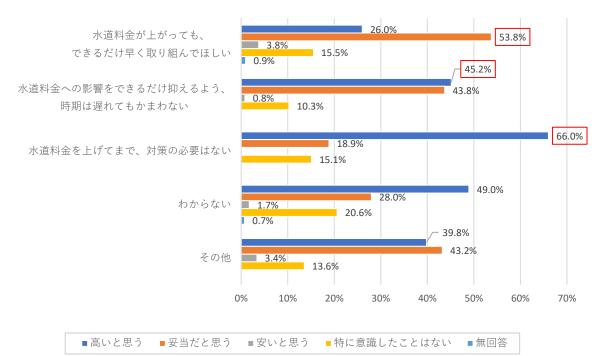


- ■水道料金が上がっても、できるだけ早く取り組んでほしい
- ■水道料金への影響をできるだけ抑えるよう、時期は遅れてもかまわない
- ■水道料金を上げてまで、対策の必要はない
- ■わからない
- ■その他
- ■無回答
- ・年齢別による比較では、「水道料金が上がってもできるだけ早く取り組んでほしい」については、概ね 年齢層が上がるほど割合が多くなる傾向がみられます。

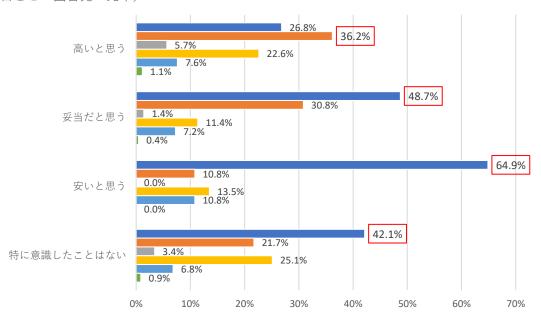
【その他の集計】

①水道料金に対する感じ方の違いによる比較(問6とのクロス集計)

(回答者の内訳)



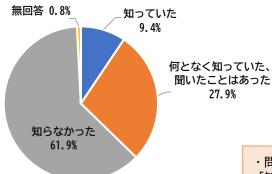
(項目ごとの回答先の比率)



- ■水道料金が上がっても、できるだけ早く取り組んでほしい
- ■水道料金への影響をできるだけ抑えるよう、時期は遅れてもかまわない
- ■水道料金を上げてまで、対策の必要はない
- ■わからない
- ■その他
- ■無回答
- ・問13について、「水道料金が上がってもできるだけ早く取り組んでほしい」を選択した方は、水道料金について、「妥当だと思う」の割合が53.8%で最も多くなっています。
- ・一方で、水道料金への影響を懸念して、「時期は遅れても構わない」、「対策の必要はない」を選択した人は、「高いと思う」の割合が最も多くなっています。
- ・また、水道料金について「高いと思う」を選択して人は、「水道料金への影響をできるだけ抑えるよう、時期は遅れてもかまわない」の割合が最も多く、36.2%になっています。
- ・一方で、「妥当だと思う」、「安いと思う」及び「特に意識したことはない」を選択した人は、「水道料金が上がってもできるだけ早く取り組んでほしい」の割合が最も多くなっています。

問14 水道事業を安定経営していくための一つの手段として、隣接する複数の水道事業体(市町村)と 広域化することにより、施設や人材の効率的な運用を図る方法があります。 現在、このような取り組みを国や県が推進していることを知っていますか?(1つお選びください)

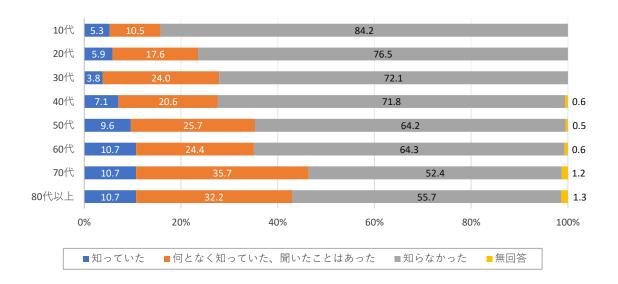
| 項目 | 人数 | 割合 |
|---------------------|--------|-------|
| 知っていた | 151人 | 9.4% |
| 何となく知っていた、聞いたことはあった | 447人 | 27.9% |
| 知らなかった | 993人 | 61.9% |
| 無回答 | 13人 | 0.8% |
| 合 計 | 1,604人 | 100% |



・問14に対し、「知っていた」の割合はわずか9.4%で、 「知らなかった」が6割超えています。

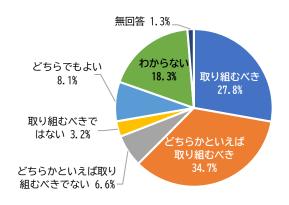
【属性別集計】

① 年齢別による比較



- ・全ての年代で「知らなかった」の割合が最も多く、10代では84.2%となっています。
- ・「知っていた」と「何となく知っていた、聞いたことはあった」の割合は、年代が下がるにつれて、減 少傾向にあります。

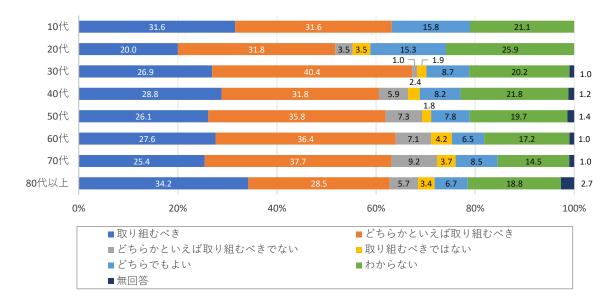
| 項目 | 人数 | 割合 |
|-------------------|--------|-------|
| 取り組むべき | 446人 | 27.8% |
| どちらかといえば取り組むべき | 556人 | 34.7% |
| どちらかといえば取り組むべきでない | 106人 | 6.6% |
| 取り組むべきではない | 51人 | 3.2% |
| どちらでもよい | 130人 | 8.1% |
| わからない | 294人 | 18.3% |
| 無回答 | 21人 | 1.3% |
| 合 計 | 1,604人 | 100% |



・「どちらかといえば取り組むべき」の割合が34.7%で最も多く、次いで「取り組むべき」が27.8%、「わからない」が18.3%の順に多くなっています。

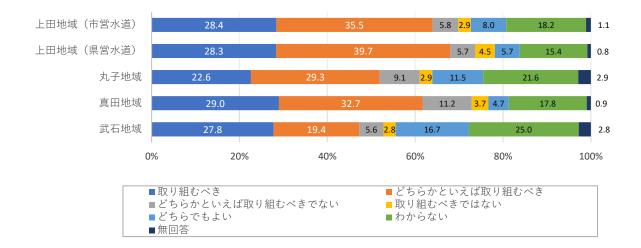
【属性別集計】

① 年齢別による比較



- ・「取り組むべき」の割合は80代以上が34.2%で最も多く、次いで10代が31.6%、40代が28.8%の順に多くなっています。
- ・「取り組むべき」と「どちらかといえば取り組むべき」を合わせた割合は、全ての年代で50%を超え、 30代が67.3%で最も多く、最も少ない20代が51.8%となっています。

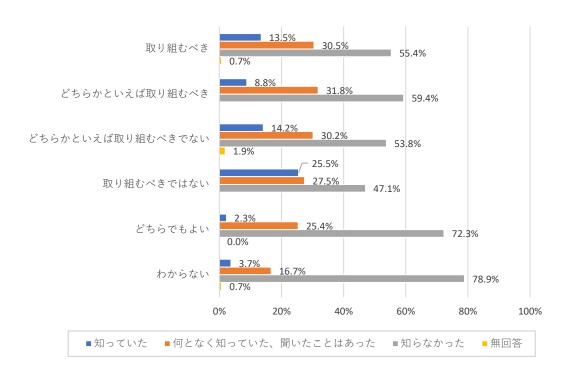
② 居住地域別による比較



- ・「取り組むべき」の割合は真田地域が最も多く29.0%で、最も少ない丸子地域とは6.4%の差があります。
- ・「取り組むべき」と「どちらかといえば取り組むべき」を合わせた割合は、上田地域(県営水道エリア)が68.0%で最も多くなっています。

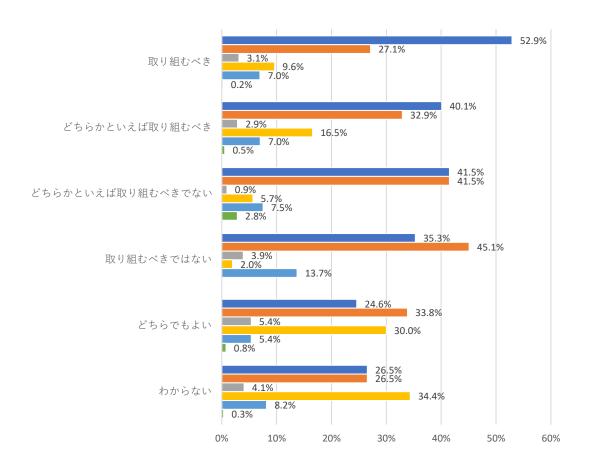
【その他の集計】

①「国や県の推進方針」についての認知度による比較(問14とのクロス集計)



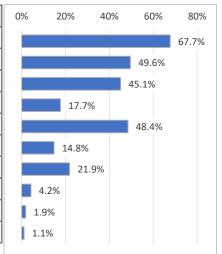
- ・いずれの回答においても、「知らなかった」の割合が最も多くなっています。
- ・水道事業の広域化について、「取り組むべき」を選択した方のうち55.4%の方は、広域化の取り組みを国や県が推進していることについて知らなかった状況にあります。

②今後の施設更新や耐震化の考え方の違いによる比較(問13とのクロス集計)



- ■水道料金が上がっても、できるだけ早く取り組んでほしい
- ■水道料金への影響をできるだけ抑えるよう、時期は遅れてもかまわない
- ■水道料金を上げてまで、対策の必要はない
- ■わからない
- ■その他
- ■無回答
- ・問15について、「取り組むべき」を選択した人は、施設の更新、耐震化について「水道料金が上がっても、できるだけ早く取り組んでほしい」の割合が52.9%で最も多くなっています。
- ・一方で、「取り組むべきではない」を選択した人は、「水道料金への影響をできるだけ抑えるよう、時期は遅れてもかまわない」が「取り組むべき」を上回っています。

| 項目 | 回答数 |
|------------------------|-----------|
| 水道料金の値上幅の抑制 | 1,086 |
| 災害時の対応力 | 795 |
| 水質などの安全性 | 724 |
| 専門人材の育成・確保 | 284 |
| 水道設備の更新や耐震化(国の補助金を活用) | 777 |
| サービスの向上 | 237 |
| 施設の統廃合などによる維持管理・投資の効率化 | 351 |
| 特にない | 68 |
| その他 | 30 |
| 無回答 | 18 |
| | (1 00 1) |



(n=1,604)

・「水道料金の値上幅の抑制」が67.7%で最も多く、次いで「災害時の対応力」、「水道設備の更新や耐震化(国の補助金を活用」、「水質などの安全性」の順に多くなっています。

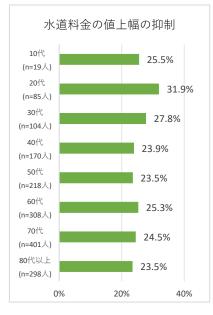
「その他」の記述内容は以下のとおりです。

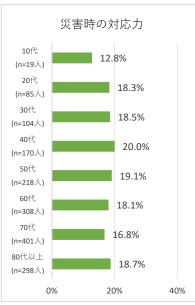
- 水道料金の値下げ
- 各仕事の合理化
- 現在のような、水道水の安定した供給
- 現状のおいしい水を将来にも
- 期待よりも不安の方が強い

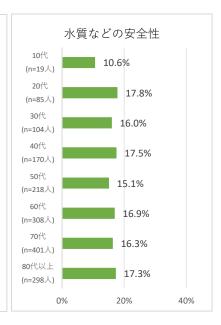
など 30件の回答がありました。

【属性別集計】

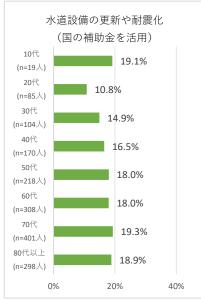
① 年齢別による比較(水道事業を広域化した場合、期待すること)

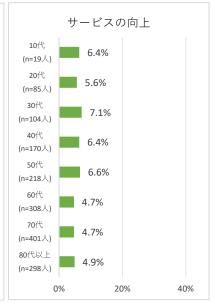


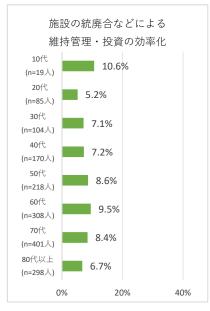


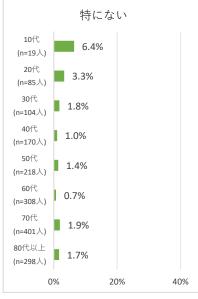


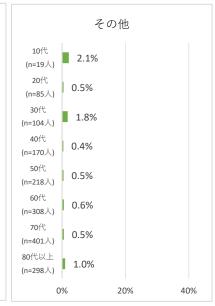












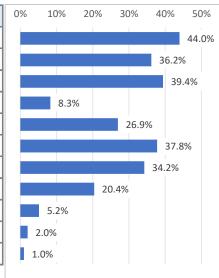
- ・年齢別による比較では、全ての年齢層で「水道料金の値上幅の抑制」を最も多く選択されています。
- ・「水道設備の更新や耐震化(国の補助金を活用)」については、年齢層が上がるほど選択率が高くなる傾向が見られます。

【その他の集計】

①水道事業広域化の取り組みについての考え方による比較 (問15とのクロス集計)

| | | | | 水 | 道事業の広域化の | D取り組みについ | τ | | |
|---------|----------------------------|--------|--------------------|-----------------------|----------------|----------|-------|------|--------|
| | | 取り組むべき | どちらかといえば 取り組むべき | どちらかといえば 取り組むべきでない | 取り組むべき ではない | どちらでもよい | わからない | 無回答 | =+ |
| | 水道料金の値上幅の抑制 | 318人 | 411人 | 57人 | 18人 | 76人 | 197人 | 9人 | 1,086人 |
| | | 29.3% | 37.8% | 5.2% | 1.7% | 7.0% | 18.1% | 0.8% | 100% |
| | 災害時の対応力 | 251人 | 299人 | 44人 | 16人 | 51人 | 128人 | 6人 | 795人 |
| | 火音时の対応力 | 31.6% | 37.6% | 5.5% | 2.0% | 6.4% | 16.1% | 0.8% | 100% |
| 広 | 水質などの安全性 | 192人 | 260人 | 50人 | 18人 | 56人 | 139人 | 9人 | 724人 |
| 域 | 小貝などの女主は | 26.5% | 35.9% | 6.9% | 2.5% | 7.7% | 19.2% | 1.2% | 100% |
| 化した場合に期 | 専門人材の育成・確保 | 104人 | 110人 | 14人 | 4人 | 8人 | 41人 | 3人 | 284人 |
| | | 36.6% | 38.7% | 4.9% | 1.4% | 2.8% | 14.4% | 1.1% | 100% |
| | 水道設備の更新や耐震化 (国の補助金を活用) | 235人 | 316人 | 39人 | 11人 | 51人 | 114人 | 11人 | 777人 |
| | | 30.2% | 40.7% | 5.0% | 1.4% | 6.6% | 14.7% | 1.4% | 100% |
| 待 | サービスの向上 | 67人 | 89人 | 13人 | 9人 | 18人 | 39人 | 2人 | 237人 |
| する | | 28.3% | 37.6% | 5.5% | 3.8% | 7.6% | 16.5% | 0.8% | 100% |
| Z | 施設の統廃合などによる 維持管理・投資の効率化 | 129人 | 154人 | 11人 | 7人 | 11人 | 37人 | 2人 | 351人 |
| ٤ | | 36.8% | 43.9% | 3.1% | 2.0% | 3.1% | 10.5% | 0.6% | 100% |
| | 特にない | 3人 | 2人 | 11人 | 14人 | 16人 | 22人 | 0人 | 68人 |
| | | 4.4% | 2.9% | 16.2% | 20.6% | 23.5% | 32.4% | 0.0% | 100% |
| | その他 | 9人 | 5人 | 5人 | 5人 | 0人 | 6人 | 0人 | 30人 |
| | | 30.0% | 16.7% | 16.7% | 16.7% | 0.0% | 20.0% | 0.0% | 100% |

| 項目 | 回答数 |
|------------------------|-----------|
| 水道料金の値上幅の抑制 | 705 |
| 災害時の対応力 | 580 |
| 水質などの安全性 | 632 |
| 専門人材の育成・確保 | 133 |
| 水道設備の更新や耐震化(自治体間の優先順位) | 432 |
| サービスの低下(お客様窓口の集約化など) | 606 |
| 上田市の意向が反映されづらくなる | 549 |
| 下水道事業の分離による業務効率の低下 | 327 |
| 特にない | 83 |
| その他 | 32 |
| 無回答 | 16 |
| | (n=1,604) |



- ・「水道料金の値上幅の抑制」が44.0%で最も多く、次いで「水質などの安全性」、「サービスの低下 (お客様窓口の集約化など)」、「災害時の対応力」の順に多くなっています。
- ・「水道料金の値上幅の抑制」と「災害時の対応力」は期待、不安・課題ともに多い状況にあります。

「その他」の記述内容は以下のとおりです。

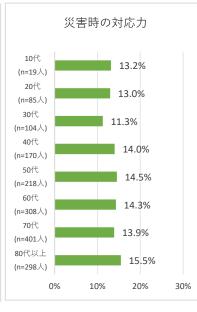
- 広域化後、民営化されるのではないか
- 水源が減るとリスクが大きくなる
- 染谷浄水場を維持出来るかどうか
- 今、飲んでいる水がまずくなること
- 水道料金の統一化による値上げ
- 丸子・武石地域の対応が不安

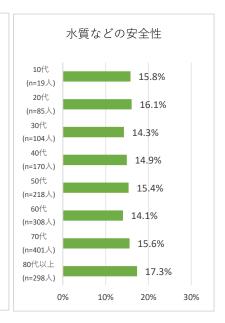
など 32件の回答がありました。

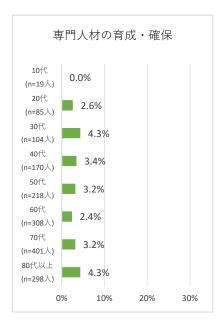
【属性別集計】

① 年齢別による比較(水道事業を広域化した場合、不安・課題に思うこと)

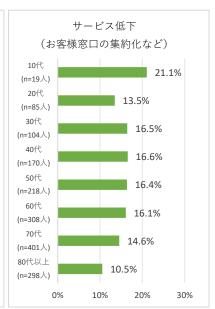


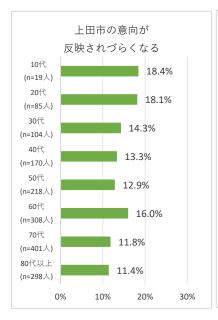


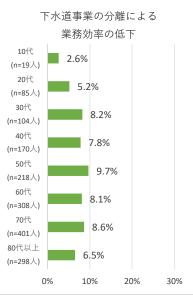


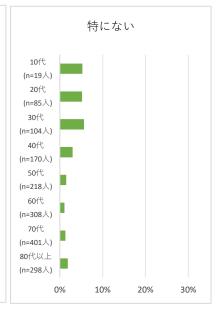


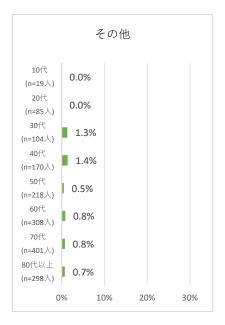












- ・年齢別による比較では、年齢層により相違が見られ、「水 道料金の値上幅の抑制」または「サービス低下(お客様窓 口の集約化など)」のどちらかが最も多く選択されていま す。
- ・「水道料金の値上幅の抑制」については、全ての年齢層において15%を超える選択率となっています。
- ・「サービス低下(お客様窓口の集約化など)」については、 年齢層が下がるほど選択率が高くなる傾向が見られます。

【その他の集計】

①水道事業広域化の取り組みについての考え方による比較 (問15とのクロス集計)

| | | | | 水 | 道事業の広域化の | D取り組みについ | 7 | | |
|-----|----------------------------|--------|--------------------|-----------------------|----------------|----------|-------|------|------|
| | | 取り組むべき | どちらかといえば 取り組むべき | どちらかといえば 取り組むべきでない | 取り組むべき ではない | どちらでもよい | わからない | 無回答 | Ħ |
| | 水道料金の値上幅の抑制 | 189人 | 255人 | 39人 | 17人 | 57人 | 140人 | 8人 | 705人 |
| | | 26.8% | 36.2% | 5.5% | 2.4% | 8.1% | 19.9% | 1.1% | 100% |
| 広 | 災害時の対応力 | 165人 | 203人 | 47人 | 19人 | 37人 | 104人 | 5人 | 580人 |
| 域 | 火日時の別心力 | 28.4% | 35.0% | 8.1% | 3.3% | 6.4% | 17.9% | 0.9% | 100% |
| 化 | 水質などの安全性 | 150人 | 215人 | 52人 | 29人 | 50人 | 124人 | 12人 | 632人 |
| L | 小兵などが大工は | 23.7% | 34.0% | 8.2% | 4.6% | 7.9% | 19.6% | 1.9% | 100% |
| た場場 | 専門人材の育成・確保 | 46人 | 38人 | 12人 | 8人 | 7人 | 20人 | 2人 | 133人 |
| 合 | | 34.6% | 28.6% | 9.0% | 6.0% | 5.3% | 15.0% | 1.5% | 100% |
| に | 水道設備の更新や耐震化 (自治体間の優先順位) | 118人 | 155人 | 33人 | 18人 | 28人 | 76人 | 4人 | 432人 |
| 不 | | 27.3% | 35.9% | 7.6% | 4.2% | 6.5% | 17.6% | 0.9% | 100% |
| 安 | サービスの低下 (お客様窓口の集約化など) | 152人 | 218人 | 47人 | 32人 | 38人 | 114人 | 5人 | 606人 |
| 課 | | 25.1% | 36.0% | 7.8% | 5.3% | 6.3% | 18.8% | 0.8% | 100% |
| 話題 | 上田市の意向が反映されづら | 107人 | 195人 | 57人 | 37人 | 36人 | 109人 | 8人 | 549人 |
| に | くなる | 19.5% | 35.5% | 10.4% | 6.7% | 6.6% | 19.9% | 1.5% | 100% |
| 思 | 下水道事業の分離による 業務効率の低下 | 76人 | 120人 | 27人 | 19人 | 22人 | 58人 | 5人 | 327人 |
| j | | 23.2% | 36.7% | 8.3% | 5.8% | 6.7% | 17.7% | 1.5% | 100% |
| 2 | 特にない | 28人 | 17人 | 0人 | 0人 | 16人 | 21人 | 1人 | 83人 |
| ٤ | | 33.7% | 20.5% | 0.0% | 0.0% | 19.3% | 25.3% | 1.2% | 100% |
| | その他 | 8人 | 10人 | 3人 | 5人 | 1人 | 5人 | 0人 | 32人 |
| | فالا | 25.0% | 31.3% | 9.4% | 15.6% | 3.1% | 15.6% | 0.0% | 100% |

| 項目 | 件数 | 0% | 20% | 40% | 60% | 80% | 100% |
|--------------------------|-----------|----|-------|------|-------|-----|-------|
| 安全に飲める水道の供給 | 1,416 | | | | | | 88.3% |
| 安い水道料金体系 | 854 | | | | 53.29 | % | |
| 地震等の災害に強い水道 | 885 | | | | 55.2 | | |
| 水道についての情報提供など、利用者サービスの充実 | 163 | | 10.2% | | | | |
| 老朽化した施設の更新 | 603 | | | 37.6 | 5% | | |
| 経営の効率化 | 163 | | 10.2% | | | | |
| 地球環境への配慮 | 161 | | 10.0% | | | | |
| その他 | 25 | 1 | .6% | | | | |
| 無回答 | 6 | | .4% | | | | |
| | (n=1,604) | | | | | | |

・「安全に飲める水道の供給」が88.3%で最も多く、次いで「地震等の災害に強い水道」が55.2%、「安い水道料金体系」が53.2%の順に多くなっています。

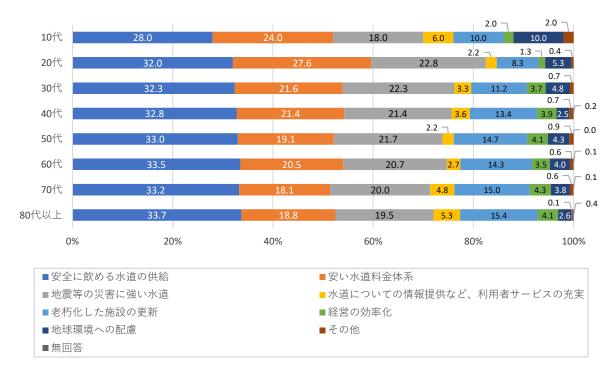
「その他」の記述内容は以下のとおりです。

- 民営化はしてほしくない
- 水質(おいしさ)アップ
- 十分な水量・送水圧の確保

など 25件の回答がありました。

【属性別集計】

① 年齢別による比較



・いずれの年齢層においても、「安全に飲める水道の供給」を選択する人が最も多くなっています。

その他ご意見等「自由記載欄」の概要

「自由記載欄」に330件のご意見等をいただきました。以下、主な意見を掲載します。

(1) 水道事業の広域化に関すること(112件)

① 下水道との分離について(10件)

- ・ 下水道料金についてどうなるのか、一体的な検討が必要ではないか。
- ・ 下水道事業を分離することによる利用者負担の増(下水道料金)は大丈夫なのでしょうか。維持できるのか不安。
- ・ 広域化は時代の流れでしょう。ただ下水道事業については考えていなかった。どうなるのか詳しく 説明していただきたい。
- ・ 上下水道は一連のものとの考えでゆく必要があると思うので、下水道も同時に広域化は考えられないのか。

② 民営化・外資系への懸念について(15件)

- ・ 水道の民営がとても心配しています。他県でも民営化が進められています。外国ではとても高いお金を出して民営化された事業を自治体で払い戻すこともあります。広域化される事は自治体の意見が反映されないと考えます。できるだけ自治体単位で経営することを望みます。
- ・ コンセッション方式の導入などの民営化には反対。広域化で対応していただきたい。
- ・ 水源を外国人に押さえられないようにしてほしい
- ・ 広域化が民営化への布石とならないようにと願います。民営化は断固反対です。
- ・ 水道事業は安定供給が重要なので、民営化はするべきではない。
- ・ 広域化は民営化とは違いますと書いてあるが、新たな水道企業団の設立を構想しているとの記述の中に、将来的に民間企業の参画がないと言えるのかどうかはっきりしない。水道事業は基本的なインフラであり、対費用効果とか効率性とは異なる基準が基本にあるべきである。将来的に私的な企業活動の参画があるとすれば大いに問題があると考えます。

③ 今後の方策等について(32件)

- ・ 老朽施設の更新は事業を広域化した際にも専門人材の確保、育成と経営の効率化を実施し、限られた人材と費用を有効に活用してほしい。
- ・ 水道事業の現在の状況、今後の課題など広く周知できるように、発信の手段を検討したらどうか。 料金の安さだけ求める人たちは一部であって、理解は得られるのでは。節水が必ずしも事業の為に ならないというのは複雑ですね。
- できるだけ安全な水を飲みたい、それにつきます。市民なのに県営水道の水というのが問題と感じます。水はとても大事なもの、安全な水があれば移住者も増えます。ぜひ上田市全域で市営水道の水を使用してほしいです。
- ・ 広域化には原則賛成ですがもっとデメリットに関する議論も深めたほうが建設的な議論になると思います。
- ・ 将来「早く手を打っておけば良かった」と後悔しないために、使用者の負担が少々増えても現在の 問題点を早く解決するよう先手先手の対応をしてください。
- ・ 国からの財政支援をあてにするのではなく、まずは上田市でどこまでできるかをもっと考えた方が よいのではないでしょうか。
- ・ 広域化がどのように進みどう成るのかが詳しくわからないと賛成して良いか判断出来ない。

4 料金について(10件)

- ・ 水道は最も重要なライフラインであり、その点、上田市の市営水道、特に染屋浄水場は水質もよく 感謝している。水道の将来を考えると広域化も止むを得ないと思うが、それより水道料金の値上げ やサービスの低下は極力抑えて欲しい。
- ・ 料金の値上げを抑制するためには広域化するべきだと思います。ただそれが真実なのか市民にはよくわかりません。「こんなはずではなかった」と声が上がらないように情報のオープン化を常に意識して取り組んでいただきたい。
- ・ 上田市と合併したことにより様々な料金が値上がりしたと言っている方の話をよく耳にします。水 道の料金についても「合併前の方が安かったのに」と言っている人も多くいます。広域化すること を前提としてアンケートをとっているように思えますが、広域化したことで高くなってしまった ら、正直払いたくなくなります。各事業の方々が苦労されていることも承知ですが市民の事も忘れ ず考えていただきますようお願いします。
- ・ 広域化した場合、税金投入により値上げ幅の抑制でなく値下げに期待する。

⑤ サービスについて (7件)

- ・ 上田市は合併により住民サービスが著しく低下しました。水道事業も広域化することにより住民 サービスの低下を心配している。
- ・ とかく広域化するとサービスが低下します。一番大事な水が不便になるのが心配です。
- ・ 現在、地域によって水質が異なる(と感じている)が、広域化された時に、今の水質から悪化するのではないか。広域化し、窓口が集約した際に、一般向けと業者向けに分ける、デジタルで検索できるようになるなどの対応が必要だと思う。

⑥ 危機管理について(6件)

- ・ 安全かつ安定かどうかを第一に考えるべきで、お金は二の次。添付資料は水道料金についての記載が多く、優先順位を間違えているのではと感じる。
- ・ 現状の細分化の方が自然災害には対応できるのではないか。広域化の方が自然災害には弱いと思う。現状維持は一つの保険である。広域化は一つのリスクが伴うものと考えます。
- ・ 料金は安い方が嬉しいですが、やはり安心・安全に飲める水の供給と災害時に強い水道が第一だと 考えます。広域化で、そのことが今までよりも向上すのであれば良いと思います。

⑦ 送付資料等について(15件)

- ・ 広域化することによって上田市のメリットがよくわからない。料金がどのように変わるのかシミュレーションをしてほしい。
- ・ 広域化のメリットはよく書かれているが、それが本当に私たちのメリットなのか、具体的に見えて こない。料金の値上げ幅は?納入方法は?経費削減の為に施設廃止して大丈夫?デメリットもしっ かり伝えていくべき。
- ・ 老朽化に関しては料金がこのくらい上がればここまで工事が進むなど記載してほしい。広域化はメリットデメリットを教えてほしい、そうすればこのアンケートも答えやすい。
- ・ 広域化ありきの「アンケート実施」の実績作りか?グラフ・表の文字が小さく読めない。

⑧ その他(17件)

- ・ 広域化は上田市には利点が少ない。他の地域のために行おうとしているように思う。
- ・他の水道事業者の先頭となれるよう、広域化の推進に期待します。
- ・ 広域化について分かり理解できました。複数の事業体との広域化を目指すなら県単位の広域化はできないのかと思いました。

- ・ 広範囲の事業をまとめ進めるにはどのくらいの期間がかかるのか。広域化するだけで経営が継続して運営されるのか。
- ・ 県外からきたものとしては上田の水はとてもおいしく広域化によりおいしくなくなることの不安。 広域化によりいままでより雑な仕事になりはしないか心配。
- ・ 広域化すると、具体的に我が家にとってどうなのかという姿がわからないので、今のままでもいいような気がする。

(2) 広域化以外の水道に関すること(69件)

- ・ 水圧が低いので水圧をもっと上げてもらいたい。
- ・ 基本料金が高いと思います。もう少し安くなればいいと思います。実家の水道の使用を止めて頂いた時再開するのに手数料がかかりました、それがなくなればありがたいです。上田ガスは再開して頂くのに無料でした。
- ・ 災害時の対応を適切に、かつ早くしていただきたいです。
- ・ もっとこまめな情報配信(検針時などに配布)をお願いしたい。
- ・ 上田市の漏水による損失を知らせて下さい。取員不足、対策経費の面により、漏水対策が積極的とは思えない感がある。
- ・ 水道料金高すぎ。下水道代が別なのが分からない。1カ月単位での請求にしてほしい。
- ・ 10数年前に他県から移住してきましたが、水道料金の高さにびっくりです。こんなに水道料金が高いのは異常なレベルだと思います。
- ・ 水道メーターと電気使用量メーターを一律化し、人材の確保を行ってほしい。
- ・ 電力会社はすでにメーターの変更から毎月調べに来ないので水道についてもデジタル化となれば人 員削がとれるのではないか。
- ・ 何故、独立採算制なのですか。税金投入は当然と考えます。

(3) 下水道事業に関すること(12件)

- ・ 緑化のための水まき、冷化効果追及など、下水道に流していない水に対し料金が発生するのは疑問。
- ・ 上水道料金は適正だと思うが、下水道代が高い。
- ・ 下水道にかかる経費分析について知りたい。

(4) その他(上記以外で感想等含む) (137件)

- ・ 水道をひねったら水が出ることを当たり前と思ってしまいますが、老朽化の問題や維持をしていくには大変だということが改めてわかりました。次世代につなげる取り組みが大切ですね。
- ・ 良質な水道水と聞いたことがある上田市。これからも供給をよろしくお願いいたします。
- ・生きていくために最も大切な水ですが、ごく当たり前に飲み、食事の用意をして、洗濯をして、トイレも自由に使わせて頂いて来ました。当たり前に生活できたことが何よりの恵みです。そのためには陰にあってどれほどの人材が御奉仕してくださったことか。報われない骨の折れる仕事です。 感謝あふれます。
- ・ 家の辺は新しい水道水になり前のように、にごりもなくなりおいしい水が飲めます。
- ・ 町中の水がまずいです。飲食店もですし、自宅も飲めないので、高額な浄水器をつけましたところ 快適です。都内の方は長野の水は美味しい!と勝手に思っているので、町中の飲食店のお水を飲ん だ時がっかりすると思います。東京のお水の方が美味しいです・・・
- ・ 今回のように、情報を発信し、先をみ越して対策をしていってほしい。
- ・ できない理由をさがすのではなく、できる、やることから実行してください。今の水道事業はすばらしいです。世界ナンバーワンだと思います。